

# 北海道師範塾 「教師の道」 塾頭通信

第631号 平成25年10月24日

## 目視確認の愚

大阪府の教育委員会は、入学式や卒業式の国家（君が代）斉唱の際、教職員が実際に歌ったかどうかを管理職が目視で確認するよう求める通知を府立学校に出していたとの報道（9月17日付朝日新聞）があり、驚いています。

大阪府教育委員会の通知に対して「愚」というのは誠に失礼とは思いますが、何故そう表現したかという「唇の動きを目視」したからといって、実際に歌っているかどうか迄は確認出来る筈もなく、「労多くして功少なし」という結果を招くだろうと思うからです。

大阪府では、昨年3月の府立和泉高校の卒業式で、当時の中原校長が実際に歌ったかどうか教職員の口の動きでチェックして物議を呼びましたが、当の校長は本年4月から大阪府の教育長に就任し、府立学校の全校長に自分と同じことをさせようとしているのだと思います。

私には、余り建設的な対応とは思えませんが、「唇の動きを目視」して確認しなければならない程、府内の公立学校においては国歌斉唱が適切に行われていないという事かも知れません。そうだとすれば、それはそれで誠に不幸な事だといわざるを得ません。

もっともそうした状況は、決して大阪だけの特異な問題ではないという事を、認識しておく必要はあると思います。

国旗国歌を巡る問題の背景として考えられることは、一つは、校長のリーダーシップの不足が上げられるでしょう。あるいは、校長自身の問題認識が薄いという事も考えられます。その様な校長にカツを入れるという意味では、今回の府教育委員会の通知は意味があるといえるでしょう。

少なくとも校長は、学校運営の責任者なのですから、必要に応じ職務命令を発する等、教職員に対するリーダーシップをしっかりと果していただきたいと思います。次に考えられる問題は、教師の国旗国歌に対する姿勢です。

9月30日付朝日新聞の社説で「かつて君が代は、軍国主義教育のなかで戦意高揚に使われた。」と述べられていますが、いまだに「国旗国歌を指導する事は、日本を再び軍国主義国家にしようとするものだ」と考えている教職員がいるであろう事は、否定しません。

しかし、今日、各学校では国旗が掲揚されており、卒業式等の行事では国歌が斉

唱されていますが、だからといって、今の日本の教育を見て軍国主義教育が行われていると考える者はいないと思います。

問題の根っこは国旗や国歌そのものにあるのではなく、国旗や国歌を軍国主義教育や国威発揚に利用した人間達の方にある筈で、逆にいえば、現在の国旗や国歌を変えてみても、それだけで日本が再び軍国主義国家にならないという保証はどこにもない訳です。従って、日本が再び戦争という災禍を招かぬ為には、国家指導者初め国民の意識が極めて重要だという事になります。これはいい換えれば、我々は無批判にリーダーに従う様な国民であってはならないという事であり、その為には、我が国の民主主義をもっとより成熟させていく必要があると思っています。

また、学習指導要領に束縛されず自由に教育実践をやりたいと考えている教員がいますが、こうした教員には、「卒業式や入学式等で国歌斉唱する事は学習指導要領に従う事になる」という様な歪んだ意識が働いているのかも知れません。

学習指導要領は、文部科学省が学校教育法等に基づき、各学校における教育課程を編成する際の基準として定めているものですが、その目的は、全国のどの地域で教育を受けても一定の水準の教育を受けられる様にすることにあります。従って、教員が学習指導要領を無視して、自分のやりたい事をやりたい様に実践するという事になれば、日本の公教育は成り立たなくなるのではないのでしょうか。

日本は、戦後一貫して平和主義を貫いて来ましたが、しかし、今や日本を取り巻く国際環境は厳しさを増しており、こうした中で、将来を過たず正しい進路に進む事は容易ではありません。

これからの日本は、これ迄以上に世界の国々から信頼され、国際社会の平和と安定に貢献できる国にならねばなりません。

日本がそうした国になる為には、将来の日本を背負う子ども達を、これ迄以上に世界の人々に伍して活躍出来る人材として世に送りだして行く事が必要になります。

特に、世界は急速にグローバル化しつつありますが、こうした状況だからこそ、日本人としてのアイデンティティを確立させる事が重要です。自分の国に誇りと愛情を持たない人が、世界の人々と交わり、国際社会の平和と安定に寄与出来るとは、到底思えないからです。

こうした状況の中、教師初め教育関係者には、子ども達を、世の中の動きをしっかりと把握し、自分の頭で考え、判断し、行動出来る一人の人間として育て上げ、社会に送り出して行くという、大きな使命と責任がある事を忘れないで欲しいと思っています。(塾頭：吉田 洋一)